



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 関東電化工業株式会社

コード番号 4047 URL <http://www.kantodenka.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山下 史朗

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員人事総務部長

(氏名) 浦本 邦彦

TEL 03-3257-0371

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,480	6.6	447	—	702	—	458	—
25年3月期第2四半期	16,403	△8.5	△949	—	△972	—	△8,150	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,502百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △8,474百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年3月期第2四半期	7.98	—
25年3月期第2四半期	△141.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年3月期第2四半期	46,529	12,456	24.2	196.12
25年3月期	46,351	10,957	21.7	174.49

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 11,282百万円 25年3月期 10,038百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	35,500	3.3	700	—	900	—	600	—	10.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	57,546,050 株	25年3月期	57,546,050 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	17,763 株	25年3月期	17,352 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	57,528,375 株	25年3月期2Q	57,528,999 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成25年11月25日(月)に機関投資家・証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会にて使用する決算補足説明資料は開催後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(四半期連結損益計算書).....	6
(四半期連結包括利益計算書).....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(セグメント情報等).....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融政策を受けて、個人消費の持ち直しや、輸出関連企業を中心とした業績回復の動きが見え始めたものの、中国や新興国の景気減速懸念、欧州経済の停滞、米国の金融政策の動向等、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

化学工業におきましても、原燃料費用の上昇が収益を圧迫するなど、引き続き厳しい状況にありました。

このようななか、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、基礎化学品事業部門が、販売数量の減少と販売価格の低下により減収となりましたが、精密化学品事業部門が、販売数量の増加により増収となったため、174億80百万円と前年同期に比べ10億76百万円、6.6%の増加となりました。損益につきましては、売上高の増加と費用の削減により、経常利益は7億02百万円、四半期純利益は4億58百万円となりました（前年同期は、経常損失9億72百万円、四半期純損失81億50百万円）。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

①基礎化学品事業部門

か性ソーダは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。塩酸は、販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となりました。

塩素系有機製品につきましては、トリクロロールエチレンおよびパークロールエチレンは、販売数量の減少と販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、32億36百万円となり、前年同期に比べ2億44百万円、7.0%の減少となりました。営業損益につきましては、営業損失1億98百万円となりました（前年同期は営業損失9百万円）。

②精密化学品事業部門

半導体・液晶用特殊ガス類につきましては、三フッ化窒素および六フッ化タングステンは、販売価格は低下したものの販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の減少と販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、103億77百万円となり、前年同期に比べ5億32百万円、5.4%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益2億91百万円となりました（前年同期は営業損失10億81百万円）。

③鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。鉄酸化物は、道路用建材の販売数量の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、12億87百万円となり、前年同期に比べ70百万円、5.8%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益2億11百万円となり、前年同期に比べ58百万円、38.6%の増加となりました。

④商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、9億28百万円となり、前年同期に比べ62百万円、6.3%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益27百万円となり、前年同期に比べ23百万円、45.9%の減少となりました。

⑤設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、請負工事の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、16億49百万円となり、前年同期に比べ7億80百万円、89.7%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益92百万円となりました（前年同期は営業損失45百万円）。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、投資有価証券の評価額が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1億78百万円増加し、465億29百万円となりました。負債は、長期借入金の減少などから13億19百万円減少し、340億73百万円となりました。純資産は、利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加などから14億98百万円増加し、124億56百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の21.7%から24.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期業績予想につきましては、平成25年8月13日付にて公表しました業績予想を修正しております。詳しくは、別途公表いたしました「第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,028	7,350
受取手形及び売掛金	9,939	9,823
商品及び製品	1,959	1,955
仕掛品	2,561	2,163
原材料及び貯蔵品	1,561	1,553
その他	714	767
貸倒引当金	△14	△13
流動資産合計	23,751	23,601
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,125	6,020
機械装置及び運搬具（純額）	5,045	5,075
その他（純額）	4,939	4,331
有形固定資産合計	16,110	15,427
無形固定資産	382	328
投資その他の資産		
投資有価証券	5,516	6,673
その他	602	510
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	6,107	7,171
固定資産合計	22,600	22,928
資産合計	46,351	46,529

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,556	4,925
短期借入金	6,701	6,701
1年内返済予定の長期借入金	3,969	4,221
未払法人税等	59	141
役員賞与引当金	1	—
その他	2,762	2,290
流動負債合計	18,049	18,279
固定負債		
長期借入金	14,122	12,289
繰延税金負債	711	1,063
退職給付引当金	1,785	1,818
役員退職慰労引当金	106	100
環境対策引当金	19	19
その他	597	502
固定負債合計	17,343	15,794
負債合計	35,393	34,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,877	2,877
資本剰余金	1,614	1,614
利益剰余金	4,728	5,187
自己株式	△8	△8
株主資本合計	9,212	9,671
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,128	1,780
為替換算調整勘定	△301	△168
その他の包括利益累計額合計	826	1,611
少数株主持分	919	1,173
純資産合計	10,957	12,456
負債純資産合計	46,351	46,529

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	16,403	17,480
売上原価	14,324	14,357
売上総利益	2,078	3,123
販売費及び一般管理費	3,027	2,675
営業利益又は営業損失(△)	△949	447
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	77	65
保険解約返戻金	—	72
試作品等売却代	44	207
その他	92	107
営業外収益合計	219	456
営業外費用		
支払利息	157	168
為替差損	65	—
その他	19	33
営業外費用合計	242	202
経常利益又は経常損失(△)	△972	702
特別利益		
固定資産売却益	—	29
投資有価証券売却益	—	66
特別利益合計	—	96
特別損失		
固定資産除却損	227	59
減損損失	3,081	—
事業構造改善費用	844	—
投資有価証券評価損	110	8
災害による損失	192	—
特別損失合計	4,456	67
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,429	730
法人税等	2,676	168
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△8,105	561
少数株主利益	44	102
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,150	458

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△8,105	561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△403	796
為替換算調整勘定	33	143
その他の包括利益合計	△369	940
四半期包括利益	△8,474	1,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,516	1,244
少数株主に係る四半期包括利益	41	257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	基礎化学品 事業 (百万円)	精密化学品 事業 (百万円)	鉄系事業 (百万円)	商事事業 (百万円)	設備事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	3,481	9,844	1,216	991	869	16,403	—	16,403
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	477	103	33	1,915	601	3,131	△3,131	—
計	3,959	9,948	1,249	2,906	1,471	19,535	△3,131	16,403
セグメント利益又は損失(△)	△9	△1,081	152	50	△45	△932	△16	△949

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△16百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

	精密化学品事業 (百万円) (注)	合計
減損損失	3,925	3,925

(注) 減損損失のうち844百万円については特別損失の事業構造改善費用に計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	基礎化学品 事業 (百万円)	精密化学品 事業 (百万円)	鉄系事業 (百万円)	商事事業 (百万円)	設備事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	3,236	10,377	1,287	928	1,649	17,480	—	17,480
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	457	94	73	1,624	388	2,639	△2,639	—
計	3,694	10,472	1,361	2,553	2,038	20,119	△2,639	17,480
セグメント利益又は損失(△)	△198	291	211	27	92	424	23	447

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額23百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。